

沿線市町へ 申し入れ！ 期限延長反対で 燃料輸送 貨車輸送

パイプライン工事即時中止・ジェット燃料貨車輸送反対・三里塚二期工事阻止を叫びぬこう！

政府・運輸省は去る六月二十六日、「来年三月までの本格パイプライン完成が不可能、さらに二年二カ月の延長が必要」と発表した。
このことは、「暫定貨車輸送は、三年間とする」との閣議決定を自ら反古にし、パイプライン工事期間の大巾延長Ⅱ工事強行と暫定貨車輸送の大巾延長を意図したものである。
こうした状況の中で、三里塚芝山連合空港反対同盟・動労千葉・動労ジェット闘争支援共闘会議・パイプライン埋設阻止千葉県共闘会議の四団体は、七月十五日の千葉市をかきわりとして、佐倉市、成田市、鹿島町など沿線市町に対し、パイプライン工事即時中止・ジェット燃料貨車輸送の延長拒否などを申し入れ、交渉を行なった。

ジェット燃料輸送問題は、 三里塚空港のアキレス腱！

内陸空港である三里塚空港にとって強行開港以来、ジェット燃料輸送問題は最大のアキレス腱であった。
そして、さらに運輸省・空港公団が行なった本格パイプライン工事の二年二カ月延長という発表は、まさに燃料問題が三里塚空港そのものの生命を制する問題として最大のアキレス腱であることをますます明らかにしている。

暫定貨車輸送は、われわれ動労千葉の鉄路を武器とした三里塚・ジェット闘争によって「いつでもストップされるもの」として、極めて綱渡りのな輸送を行なっているにすぎない。

そして、本格パイプラインについては、パイプラインを軟弱で劣悪な地盤の花見川の川底に埋め込み、発火を誘発する静電気を無視して秒速一・五メートルの高速で送油するなど全く安全基準を無視したものである。しかも一センチの穴があいただけで三〇〇メートルもの火柱がふき上るといふパイプラインを住宅密集地に埋設しようとしている。

このような本格パイプラインの安全無視Ⅱ住民無視の工事強行に対し、沿線住民・市民の怒りの闘いが盛り上っている。

暫定貨車輸送延長攻撃は、 二期工事強行への足がかり！

このような安全無視Ⅱ住民無視の本格パイプライン工事を政府・公団は、なんとしても完成させるため、工事期間の二年二カ月の延長を発表したのだ。

パイプラインの完成によって燃料の大量かつ安定供給を確保し、飛行便の増加と二期工事着工の足がかりをつくらうとしている。



7月19日、鹿島町当局に燃料輸送延長拒否を強く申し入れる抗議団。抗議文を読み上げる鹿島市民の会関沢紀氏。

二期工事は、本格パイプラインの完成にかかっている。従って政府・公団は、「閣議決定」を自ら反古にしてでもなりふりかまわず、パイプライン工事期間の延長Ⅱ工事強行と暫定貨車輸送の期限延長攻撃を行なってきたのだ。

反対同盟・沿線住民と連帯してパイプライン 工事阻止・貨車輸送延長攻撃を粉砕しよう！

今回の四団体による沿線自治体に対する申し入れ・交渉の中で、それぞれの市町当局は、「いまだ公団から正式な連絡がない」「申し入れがあれば慎重に対応する」などと答え、特に千葉市当局は、空港公団のいうがままに「パイプラインの安全性は確保されている」などと全くデタラメな回答を行ってきた。

われわれは、今回の四団体による対自治体交渉を第一歩として、さらに広はん沿線住民・市民労働者を結集して、安全無視・危険な本格パイプライン工事即時中止、ジェット燃料貨車輸送粉砕三里塚空港二期工事阻止にむけて闘いぬこう。